

# 篠崎中学校だより



文責：北九州市立篠崎中学校校長 青木哲也

## 【1年を振り返る】

・今年も新型コロナウイルスに、行事の変更など振り回された1年でした。しかし、その中でも、生徒の皆さんは、それぞれの中でよく努力してきたと感じています。

自分のこの1年の様子や定期考査の中身を振り返り、もう少しできたことや次の目標を立てるようにしましょう。

### 【門松づくり】

・地域の方、コーディネータの方、そして生徒会執行部で門松づくりをしました。全校生徒も、門松や正月について調べ学習をして、途中製作の状況を見学しました。

意外と知らないそのいわれなどを知るとともに、新年に向けての気持ちの整理につなげましょう。

また、日本の文化を海外に紹介する機会もあるので、自分の国のことはしっかり理解しておきましょう。



### 【年末大掃除】

・門松づくりと並行して、年末の大掃除をしました。昨年から当番清掃を実施しているので、全校で一斉に掃除に取り組むのは、今年になって初めてだったかもしれません。笑顔で楽しそうに掃除に取り組んでおり、人の気づかないところまで、磨き上げてくれる人がたくさんいました。素晴らしい姿を見ることができました。



## 【うれしい出来事】

### 【善行】

・落とし物を拾って、地域の方と相談し、交番に届けてくれた人がいます。何も言わずにその場を離れたが、感謝の連絡が入り、学校で尋ねたところ、2年生の柴田君と熊谷(龍)君が申し出てくれました。地域の助けになる本校生徒の善行を誇りに感じます。

### 【生徒会役員改選】

\*生徒会役員選挙で学校の新しいリーダーが選ばれました。生徒の力で篠崎中学校を引っ張ってほしいと願っています。(専門委員は年明けにお知らせします)

会 長	谷口 優衣 さん	
副会長	城田 聖 君	唐川 陽太 君
書 記	藤垣 美柚 さん	安部 凜 さん

## 【来年度に向けて】

◎後期・来年度に向けて様々なことを検討しています。そのいくつかをお知らせします。

☆前期後期の2学期制を来年も継続しますが、成果や課題が見えてきたのでお知らせします。

・年間で48時間+10時間程度の時間数が生み出されました。

\*このようなことを通して、より丁寧に、分かりやすい授業づくりを進めていきます。補充的な授業や発展的な授業など、多様な授業を工夫します。

○儀式的行事の削減と簡素化

⇒ 24単位時間数程度の授業数の増加

⇒ 節目をどのように作るか、気持ちの切り替えなど前期後期のまとめと整理方法を工夫する。

○定期考査の削減

⇒ 20時間を越える時数が生み出されました。

その時間を授業、教育相談やその他の時間へ  
⇒ 定期考査に偏り過ぎない授業(知識だけでなくその活用も含む)での学習評価の方法を生徒や保護者にも理解してもらう。  
何を先生が評価しているかを知らせる。

・定期考査と前期後期毎の通知表、また、その他のテストのフィードバックなどと、懇談会の設定を検討していきます。特に来年は夏休み前、あるいは夏休み前半での個人懇談を実施し、前期前半の生徒の学校での様子や学習の状況を伝えて、夏休みの学習につながるようにしたいと考えています。

\*次回は、生徒心得の見直しについてです。

## 【表彰】

・今回、ひびしん俳句大賞の表彰式が、校長室にて、開催されました。3年生が3名受賞しました。

紅葉のひらり一枚置手紙

廣瀬さん(理事長賞)

\*俳句の専門家が来られて、「廣瀬さんの作品は読む人ごとにその情景が様々に広がる素晴らしい作品」と評価をいただきました。

ゼッケンにしみつくにおい夏の汗

内村さん(優秀賞)

夏稽古一心不乱に竹刀振る

眞島さん(優秀賞)

